

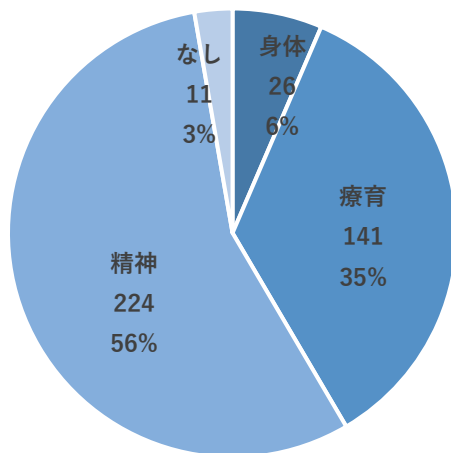
令和 5 年度 武蔵野市障害者就労支援センター事業

上半期（4 月～9 月）、10 月 事業報告

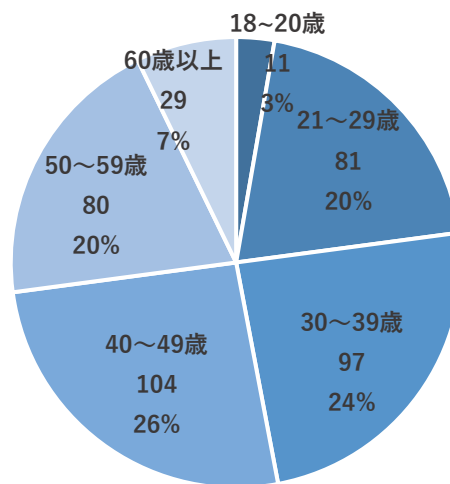
1. あいの登録者全体の概況

登録者状況＜N=402＞

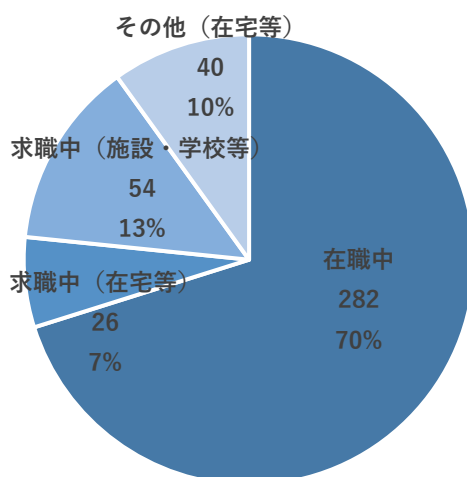
手帳種別



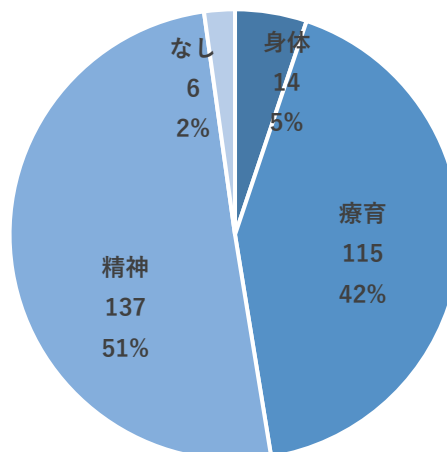
年齢別



就労状況別



在職者手帳種別 (N=282)



- 10月末時点で、登録者数は402名となりました。
- 手帳種別では、精神障害者保健福祉手帳の方が56%と割合が高く、あいの登録者構成における大きな特徴です。
- 年齢別では、40歳以上の方が53%（213名）と、中高年齢層の割合が高いです。在職者の方も多くいるため、障害のある方のセカンドキャリアへの相談対応と将来に向けた生活相談の両面について、支援の質を高めていくことが求められています。
- 就労状況別では7割の方が在職者です。就労移行支援事業所等の就労系福祉サービスに所属していない方（求職中（在宅等））の割合の少なさから見ても、定着支援の比重が高いセンターであることがお分かりいただけると思います。

2. 初回相談状況（登録前面談）について

<初回相談 月別件数>

| 計 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 38 | 10 | 7 | 3 | 2 | 6 | 4 | 6 |

<手帳種別> ※手帳重複所持の方2名。実人数38名。

| 計 | 身体 | 療育 | 精神 | なし |
|----|----|----|----|----|
| 40 | 7 | 3 | 20 | 10 |

<障害種別>

| 計 | 身体 | 知的 | 精神 | 発達 | 高次脳 | 不明 |
|----|----|----|----|----|-----|----|
| 38 | 7 | 4 | 10 | 9 | 4 | 4 |

<年齢別>

| 計 | 20歳未満 | 20歳～29歳 | 30歳～39歳 | 40歳～49歳 | 50歳～59歳 | 60歳以上 | 不明 |
|----|-------|---------|---------|---------|---------|-------|----|
| 38 | 0 | 10 | 7 | 11 | 8 | 1 | 1 |

<就労状況別>

| 計 | 在職中 | 求職中（在宅等） | 求職中（施設・学校等） |
|----|-----|----------|-------------|
| 38 | 20 | 13 | 5 |

<紹介経路別>

| 計 | HW | 企業 | 就労移行 (うち定着引継) | 就労移行以外の福祉サービス | | | | | |
|----|--------|----|------------------|---------------|------|----------|----|-------|-------|
| | | | | B 型 | 計画 | 就労支援センター | 地活 | 高次脳相談 | 生活訓練 |
| | 5 | 3 | 4 (3) | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 1 |
| 38 | 障害者福祉課 | | 特別支援学校 | 直接 | その他 | | | | |
| | | | | | サポステ | | 病院 | | 職業訓練校 |
| | 3 | | 0 | 9 | 1 | | 1 | | 2 |

<相談内容別>

| 計 | 基本的情報収集 | 就労準備 | 定着支援※復職相談含む | 転職相談 |
|----|---------|------|-------------|------|
| 38 | 9 | 11 | 13 | 5 |

- 初回相談件数は38件と例年並みです。
- 手帳種別では、精神障害者保健福祉手帳の方が20名と多くを占めています。手帳なしの方からのご相談も10名と目立ち、ほとんどが障害者雇用や福祉サービスに関する情報収集、手帳取得の方法やメリット等について知りたいという傾向があり、ご家族や支援者同伴でご相談に来られるケースが多いです。
- 年齢別でみると、40歳以上の方が20名と、初回相談場面においても中高年齢層の方からのご相談が目立ちます。
- 就労状況別でみると、「在職中」が20名と最も多いです。うち8名の方は休職中の方で、復職に関するご相談です。そのうち、高次脳機能障害のある方への支援は復職支援からかかわることが多いですが、高次脳機能障害相談室ゆいっとと連携して支援をすすめています。
- 就労移行支援事業所による就労定着支援終了にともなう引継ぎ相談は3件のみと、昨年度と比較して半数程度です。

3. 新規登録者状況について

<手帳種別>※登録時

| 計 | 身体 | 療育 | 精神 | なし |
|----|----|----|----|----|
| 23 | 4 | 3 | 12 | 4 |

<障害種別>

| 計 | 身体 | 知的 | 精神 | 発達 | 高次脳 |
|----|----|----|----|----|-----|
| 23 | 3 | 3 | 7 | 6 | 4 |

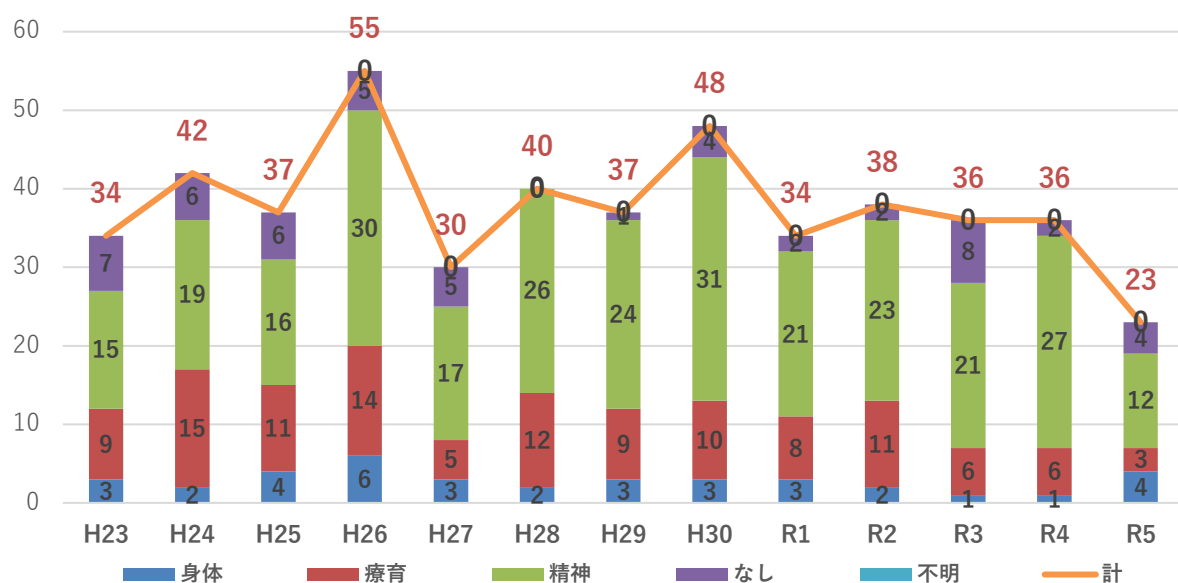
<年齢別>

| 計 | 20歳未満 | 20歳～29歳 | 30歳～39歳 | 40歳～49歳 | 50歳～59歳 | 60歳以上 |
|----|-------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 23 | 1 | 5 | 4 | 6 | 6 | 1 |

<就労状況別>

| 計 | 在職中 | 求職中（在宅等） | 求職中（施設・学校等） | その他（療養等） |
|----|-----|----------|-------------|----------|
| 23 | 11 | 9 | 3 | 0 |

<新規登録件数年次推移（手帳種別）>



- 新規登録者は23名でした。概ね例年並みです。初回相談（登録前面談）を実施した方のうちの約60%、定着支援や復職支援など支援の必要性が明確な方が登録につながっています。
- 手帳種別では、精神障害者保健福祉手帳の方が12名（52%）と最も多いです。障害種別では、精神障害の方が7名、次いで発達障害の方が6名という順です。
- 就労状況別では、「在職中」の方、「求職中」の方が約半数ずつです。「求職中」の方のうち、あいる以外の就労支援系福祉サービス等の利用がない方（求職中（在宅等））は9名いらっしゃいました。それら9名の方はあいる登録後、2名が就職、2名が就労支援系福祉サービス、1名が職業訓練校につながっています。他4名の方も体調に合わせて就職活動を続けています。

4. 新規就職者について

<就職月別>

| 計 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 31 | 12 | 2 | 5 | 4 | 4 | 2 | 2 |

<手帳種別>

| 計 | 身体 | 療育 | 精神 | なし |
|----|----|----|----|----|
| 31 | 1 | 6 | 23 | 1 |

<障害種別>

| 計 | 身体 | 知的 | 精神 | 発達 |
|----|----|----|----|----|
| 31 | 2 | 6 | 13 | 10 |

<年齢別>

| 計 | 20歳未満 | 20歳～29歳 | 30歳～39歳 | 40歳～49歳 | 50歳～59歳 | 60歳以上 |
|----|-------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 31 | 2 | 5 | 12 | 2 | 8 | 2 |

<労働時間別（週）>

| 計 | 20時間未満 | 20～29時間 | 30時間以上 |
|----|--------|---------|--------|
| 31 | 5 | 6 | 20 |

<雇用形態別>

| 計 | 正規 | 非正規 |
|----|----|-----|
| 31 | 2 | 29 |

<企業規模別>

| 計 | 大企業（うち官公庁） | 中小企業 |
|----|------------|------|
| 31 | 21（2） | 10 |

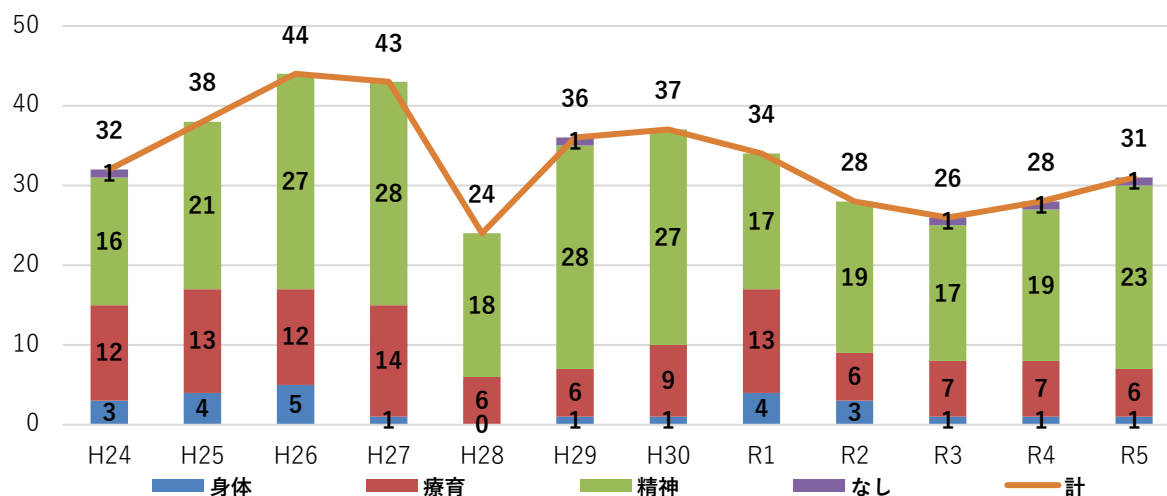
<雇用先業種別>

| 計 | 製造業 | 建設業 | 電気・ガス | 情報通信 | 医療・福祉 |
|----|-------|---------|---------|------|-------|
| | 2 | 2 | 0 | 3 | 3 |
| 31 | 飲食・宿泊 | 教育・学習支援 | 小売・卸売り | 運輸 | 不動産 |
| | 0 | 4 | 6 | 0 | 0 |
| | 金融・保険 | 官公庁 | その他サービス | | |
| | 1 | 2 | 8 | | |

<職種内訳（手帳別）>

| | 計 | 事務 （補助） | 調理・ 厨房 | 清掃 | 店舗・ バックヤード | 軽作業 | 在宅 | その他・専門 |
|----|----|------------|-----------|----|---------------|-----|----|--------|
| 身体 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 療育 | 6 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 精神 | 23 | 11 | 1 | 1 | 4 | 1 | 0 | 5 |
| なし | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 31 | 13 | 1 | 4 | 6 | 1 | 0 | 6 |

<新規就職件数年次推移（手帳種別）>



- 新規就職者数は 31 名でした。過去 5 年程度の実績と比較すると大幅に増加しています。雇用促進法の改正により、来年 4 月から段階的な法定雇用率引き上げが予定されており、今期の就職者増への影響が少なからずあったと思われます。また、クローズ（障害非開示）での就職者は 8 名でした。
- 就労移行支援事業等、福祉サービスからの就労者は 4 名のみで、新規就職者の多くは転職や、前職からそれほど期間を置かず再就職を果たした方です。
- 手帳種別では、精神障害者保健福祉手帳の方が 23 名と最も多いです。障害種別でみると、精神障害の方が 13 名、次いで発達障害の方が 10 名です。
- 年齢別では 30～39 歳の方が 12 名（39%）と最も多いですが、50 歳以上の方が 10 名いることも注目したいポイントです。

4. 離職者の状況について

<手帳種別ごとの在職期間>

| | 人数 | 6 カ月未満 | 6 カ月以上 1 年未満 | 1 年以上 2 年未満 | 2 年以上 3 年未満 | 3 年以上 4 年未満 | 5 年以上 | 10 年以上 |
|----|----|--------|-----------------|----------------|----------------|----------------|-------|--------|
| 身体 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 療育 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 精神 | 9 | 2 | 1 | 2 | 0 | 1 | 3 | 0 |
| なし | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 12 | 3 | 2 | 2 | 0 | 1 | 4 | 0 |

<離職理由別>

| 計 | 自己都合 | 会社都合 |
|----|------|------|
| 12 | 12 | 0 |

<離職後の動向別>

| 計 | 転職・再就職 | 就職活動 | 福祉サービスへの移行 | その他（療養等） |
|----|--------|------|------------|----------|
| 12 | 3 | 2 | 1 | 6 |

- 離職者数は12名でした。
- 手帳種別ごとの在職期間では、5名の方が1年未満での退職となっています。これらの方の傾向として、精神障害のある方を中心として、障害特性に起因する自己理解の不十分さがあるように思われます。ご自身の現状を踏まえた働き方よりも、希望を優先された職業、職務へ進まれた方が短期離職につながっています。
- 5年以上勤務された方も4名いらっしゃいます。うち1名の方は長い休職期間中にしっかりと社会復帰の準備を進められ転職を果たしたケースです。他の3名の方はこれまで安定的に働いてこられたというよりも、体調や気分の大きな波を幾度も経験してこられ、一旦休息のタイミングを迎え、離職を選択された印象です。
- 2名の方は60歳以上の方です。就労意欲が強いながらも明らかな気力・体力の衰えのある方や、療養に入られた方もおり、再就職の時期についての目は立っていません。今後の地域生活をどのように送っていくかという視点を重視したかわりが求められます。

5. 支援の状況について

<来所者数>（）内は前年度実績

| | 計 | 本人 | 家族 | 企業 | その他 | うち土曜日 |
|-----|----------|----------|--------|------|--------|----------|
| 4月 | 140(124) | 117(122) | 13(0) | 0(0) | 10(2) | 15(23) |
| 5月 | 122(100) | 107(92) | 5(3) | 1(0) | 9(5) | 21(20) |
| 6月 | 139(108) | 130(101) | 6(3) | 0(1) | 3(3) | 25(19) |
| 7月 | 127(93) | 108(86) | 9(3) | 2(0) | 8(4) | 35(20) |
| 8月 | 130(116) | 109(110) | 7(2) | 1(0) | 13(4) | 18(9) |
| 9月 | 106(109) | 92(100) | 6(2) | 2(0) | 6(7) | 22(19) |
| 10月 | 102(118) | 91(112) | 3(5) | 0(0) | 8(1) | 17(27) |
| 計 | 866(768) | 754(724) | 49(18) | 6(1) | 57(26) | 153(137) |

<電話相談件数>（）内は昨年度実績

| | 計 | 本人 | 家族 | 企業 | その他 |
|-----|--------------|----------|----------|----------|----------|
| 4月 | 293(233) | 135(106) | 34(15) | 72(54) | 52(58) |
| 5月 | 267(246) | 119(109) | 27(21) | 73(50) | 48(66) |
| 6月 | 315(253) | 137(106) | 31(19) | 78(57) | 69(71) |
| 7月 | 273(264) | 119(106) | 36(22) | 69(54) | 49(82) |
| 8月 | 248(279) | 120(105) | 18(38) | 64(68) | 46(68) |
| 9月 | 241(258) | 101(107) | 30(31) | 59(51) | 51(69) |
| 10月 | 250(262) | 101(108) | 33(30) | 62(49) | 54(75) |
| 計 | 1,887(1,795) | 832(747) | 209(146) | 477(334) | 369(414) |

＜ハローワーク・面接会等への同行＞（）内は昨年度実績

| | 計 | 本人 | 家族 | その他 |
|------|--------|--------|------|-------|
| 4 月 | 10(4) | 5(4) | 0(0) | 5(0) |
| 5 月 | 13(5) | 4(5) | 4(0) | 5(0) |
| 6 月 | 7(4) | 7(4) | 0(0) | 0(0) |
| 7 月 | 14(3) | 5(3) | 0(0) | 9(0) |
| 8 月 | 7(1) | 5(1) | 0(0) | 2(0) |
| 9 月 | 2(10) | 1(10) | 0(0) | 1(0) |
| 10 月 | 2(4) | 2(4) | 0(0) | 0(0) |
| 計 | 55(31) | 29(31) | 4(0) | 22(0) |

＜支援内容別件数＞（）内は昨年度実績

| | 職業相談 | 就職準備 支援 | 職場 開拓 | 職場実習 支援 | 職場定着 支援 | 離職時 支援 | 通院 同行 | 家庭 訪問 |
|------|--------------|------------|----------|------------|------------|-----------|----------|----------|
| 4 月 | 348(415) | 31(14) | 0(1) | 1(6) | 43(39) | 5(2) | 2(1) | 1(1) |
| 5 月 | 322(360) | 12(11) | 0(0) | 9(1) | 43(30) | 0(2) | 2(2) | 1(2) |
| 6 月 | 334(373) | 18(9) | 0(1) | 0(0) | 42(30) | 2(5) | 3(3) | 4(1) |
| 7 月 | 338(338) | 11(18) | 0(0) | 2(4) | 35(32) | 0(8) | 5(3) | 0(1) |
| 8 月 | 316(385) | 13(11) | 0(0) | 4(13) | 30(28) | 2(2) | 7(4) | 0(0) |
| 9 月 | 310(372) | 1(13) | 0(0) | 4(3) | 43(36) | 0(1) | 4(2) | 1(2) |
| 10 月 | 273(365) | 1(12) | 1(0) | 18(18) | 38(29) | 0(1) | 6(4) | 1(0) |
| 計 | 2,241(2,608) | 87(88) | 1(2) | 38(45) | 274(224) | 9(21) | 29(19) | 8(7) |

- 来所者数は、昨年度と比較して増加傾向ですが、概ね例年並みです。土曜日の来所者が全体の 20%弱を占めています。毎月第 1 土曜日に登録者茶話会を開催していることと、平日の来所が難しい方へ、集中的に面談を実施するためです。
- 電話相談件数は、昨年度より微増ですが、例年と比較すると減少傾向が続いていると言えます。
- 支援内容別件数では、職業相談件数が昨年度を大きく下回っています。一方で定着支援件数はすべての月で昨年度を上回っており、あいる所内での面談、電話相談件数は減少傾向にある反面、企業訪問の機会が増加していることが分かります。
- 通院同行件数が昨年度より大きく増加しています。今後も、医療機関との情報共有を重視した支援を継続していきます。
- 在職中の方からは、職場のハラスメントに関する相談が寄せられることが増えています。ハラスメントに関するケースは職場の中でもスムーズに対応されないことが多く、長期化し、メンタル面に大きな悪影響を及ぼします。労災に関する手続きの相談も寄せられますが、障害者雇用の場合は「障害者虐待」に直結する場合もあるため、就労支援センターにおける対応スキーム、特に就労支援センターが頼ることのできる相談窓口（総合労働相談コーナー、東京都障害者権利擁護センター等）の整理をしておく必要があります。
- 11 月 18 日（土）に生活講座の開催を予定しています。あいる登録者に限らず、市内にお住いの障害のある方やその保護者の方に参加を呼びかけています。あいる登録者の中に具体的な被害事例はまだありませんが、昨今の SNS

トラブルの中でも、特殊詐欺被害の増加に焦点を当て、その被害防止をテーマに企画、準備を進めています。当日は武蔵野警察から講師を招聘するだけでなく、演劇による啓発を通じて、参加者と一緒にその対策を学びます。

6. 地域啓発・関係機関とのネットワークについて

(1) 障がい者の就労を考えるつどい 2023 について

武蔵野市、三鷹市、ハローワーク三鷹の合同開催で毎年 1 回開催しています。今年度は、以下のとおり、集合開催と録画配信のハイブリッド形式で開催します。

<障がい者の就労を考えるつどい 2023>

- 日 時：11 月 24 日（金）午後 2 時 00 分～4 時 10 分／録画配信は 12 月上旬から 1 ヶ月間
- 場 所：武蔵野プレイス 4 階フォーラム／録画配信はお申込みいただいた方への限定配信（youtube）
- テーマ：「障害者雇用ははじめの一步 PART2～さあ始めよう！職場定着のための準備と仕組みづくり～」
- 内 容：ハローワークによる行政報告。企業、就職を目指す障害当事者それぞれに向けた、職場定着に必要な取り組み等に関する基調講演。これから障害者雇用に取り組もうとする、または職場定着に困っている企業担当者に向けて、同じ企業の立場からメッセージ発信。法定雇用率の引き上げから、はじめて障害者雇用に取り組む企業の増加が予想されることから、それらの企業を主のターゲットとしてとらえ、職場定着に関する基本的ノウハウを伝える機会とします。
- 講 師：ハローワーク三鷹雇用指導官／中央障害者雇用情報センター障害者雇用支援ネットワークコーディネーター／障害者就業・生活支援センターオープナー施設長／株式会社島津製作所障害者雇用人事担当者
- 対 象：障害者雇用関係者、障害者雇用に関心のある方

(2) 障害者庁舎内実習について

- 今年度第 1 期の庁舎内実習を 10 月 30 日（月）～11 月 10 日（金）までの 2 週間で実施し、4 名の方にご参加いただきました。
- 12 の課にて実習を受け入れていただきましたが、各課における受け入れ日数の少なさから、スケジュール調整が難航しました。障害者福祉課から武蔵野市総合体育館、武蔵野プレイス、桜堤調理場と外郭団体へ実習受け入れの協力依頼をしていただき、実習生 1 名につき、4～5 日の実習スケジュールを組み立てることができました。今後も継続して実習の受け入れをしていただけるよう、働きかけていきます。
- 実習生の公募は、あいるから市内の就労移行支援事業所等の就労支援事業所に向けて行った結果、最大 4 名の定員に対して過去最多の 7 名からの応募がありました。実習希望者に対しては各所属事業所を訪問しての実習説明、配慮事項等必要事項の聞き取りを行い、実習生決定後には受け入れ課に向けて、実習生についての情報提供、実習内容の確認を行うことで、双方が安心できる実習につなげるためのコーディネートを行いました。
- 武蔵野市役所の中で障害者雇用が進んできたことで、実習生用の業務切り出しが難しくなっていることから、実習受け入れ可能日数の減少が大きな課題となってきました。実習期間をもっと広く設定し、“スケジュールありき”の実習から、“業務ありき”の実習への転換をはかる時期を迎えていると考えます。

(3) 武蔵野市障害者就労支援ネットワーク連絡会について

今年度の武蔵野市障害者就労支援ネットワーク連絡会を以下の内容で開催（または開催予定）です。

対 象：主に市内就労移行支援事業所職員、地域活動支援センター、医療関係者、学校関係者、就労支援に関心の

ある関係機関職員など。

<第1回>

- 日 時：8月25日（金）13時30分～15時00分
- 場 所：オンライン開催
- 内 容：障害者雇用促進法、総合支援法の改正に関する動向について共有。今年度の連絡会内容についての意見交換。法改正に向けた支援者の心構えについての講義。
- 講 師：障害者就業・生活支援センターオープナー 施設長 荒木 浩 氏
- 参加者数：40名

<第2回（開催予定）>

- 日 時：12月21日（木）13時30分～15時00分
- 場 所：オンライン開催
- 内 容：障害者雇用促進法、総合支援法の改正に関する動向について共有。医療連携をテーマとして意見交換、情報共有。

(4) その他

- 多摩地域の障害者就労支援センターで構成される多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会（多摩ブロック会）について、その幹事の一人としてセンター長が参画をしています。10月開催の連絡会では、小平市障害者就労支援センターと協力して「法改正を見据えた地域ネットワークの状況と課題」をテーマに取り上げました。事前にテーマに沿った内容で、多摩地域だけでなく、東京都内すべての就労支援センターと就業・生活支援センター（ナカボツセンター）、に向けてアンケートを実施し、多くの回答（回収率83%）が寄せられたと同時に良い反響を得ることができました（補足資料1）。多摩地域就労支援センター職員だけでなく、オブザーバーとして東京都福祉局からもご参加いただいておりますので、就労支援センターの現状について東京都にも理解を広げていく機会とすることができました。
- 障害者雇用促進法改正により、2024年4月から段階的に法定雇用率が引き上げられること、また、特定短時間労働者（週10時間以上20時間未満）も雇用率にカウントされる動きにともない、市内の事業所における障害者雇用の機運がどの程度高まっているのか調査すべく、障害者福祉課を通じて武蔵野商工会議所に協力を仰ぎ、市内事業所へのアンケート調査を実施しました。アンケートは商工会機関誌に「協力のお願い文」とQRコードの掲載、また商工会議所の厚意でホームページにも掲載をしていただきましたが、残念ながら、回答は1社のみという結果でした。

(5) 関係者会議、関係機関ネットワークに関する会議等への参加状況

| 会議名等 | 回数 |
|---------------------------|----|
| 支援に関する関係者会議 | 41 |
| 三鷹市、ハローワーク三鷹との共催セミナー打ち合わせ | 9 |
| ハローワーク三鷹雇用連絡会 | 1 |
| 武蔵野市地域自立支援協議会 | 4 |
| 武蔵野市精神保健福祉連絡会 | 2 |
| 東京都障害者就労支援協議会 | 1 |

| | |
|-------------------------------------|---|
| 障害者福祉課困難事例検討会 | 1 |
| 多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会幹事会 | 3 |
| 多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会 | 2 |
| 多摩就労支援ネットワーク連絡会 | 1 |
| 高次脳機能関係機関連絡会 | 1 |
| 都立田無特別支援学校連絡運営協議会 | 2 |
| 都立田無特別支援学校・就労支援センター連絡会 | 1 |
| 都立田無特別支援学校市内在住 3 年生・保護者への事業説明会 | 1 |
| 都立田無特別支援学校障害者福祉課訪問対応 | 1 |
| 都立永福学園市内在住 2 年生への事業説明会 | 1 |
| 都内クリニックデイケアプログラム学習会講師 | 1 |
| ディーキャリア武蔵境センター（就労移行支援事業所）利用者への事業説明会 | 1 |

7. 職員について、その他

- 非常勤 1 名の交代があり、4 月に着任をしました。就労移行支援事業を長く経験してきた職員ですので、即戦力として活躍しています。担当ケースも少なくありませんが、時間をかけ丁寧な引継ぎを心掛けました。
- 職員は自発的な姿勢で研修受講を進めています。就労支援、障害特性理解に関する研修だけでなく、今年度は 武蔵野市バリアフリー基本構想に基づく教育啓発のため、全職員が認知症サポーター養成研修の受講を進めています。
- 新型コロナ感染症対策として、引き続き定時換気、面談室等使用後の消毒の徹底、また職員はマスク着用を推奨しています。一方、面談室や応接スペースでのアクリルパーテーションについては、来談者の希望に応じて使用するなどしています。
- 今年度も帝京大学元永拓郎教授をスーパーバイザーに招き、事例検討会を実施しています（今年度は 6 回を予定）。就労面だけでなく、生活面、家族関係、貧困の問題など、複合的な問題を抱えているケースが増加する中で、支援者がケースにどのような姿勢で対応をしていくべきか、職員間の意見交換とスーパーバイザーからの具体的なアドバイスをもとに学びを深めています。

<事例検討会実施状況>

| | | |
|-------|-----------------|--|
| 第 1 回 | 7 月 5 日 | 「いつか自分は不要だと言われる」アイデンティティの方へのかかわりと復職支援について② |
| 第 2 回 | 9 月 19 日 | 障がい理解が定まっていない方の合った働き方について |
| 第 3 回 | 10 月 10 日 | 自己理解をすすめるための支援について |
| 第 4 回 | 11 月 7 日 | 中止 |
| 第 5 回 | 令和 6 年 1 月 23 日 | 自分のリミットの把握が苦手な方へのより良い支援について |
| 第 6 回 | 令和 6 年 2 月 21 日 | 未定 |

<職員の研修参加状況>

| 分野別 | 回数 | 内容等 |
|--------|----|--|
| 就労支援関係 | 13 | 東京都（ワーキングトライ）・精神障害者就労定着支援連絡会／東京都・就労支援機関連携スキル向上事業マッチングスキル向上研修（動画視聴）／東京都・就労支援機 |

| | | |
|--------|----|---|
| | | <p>関連携スキル向上研修／東京障害者職業センター・令和５年度第４回就労支援課題別セミナー「ジョブマッチング～求職者支援のノウハウを学ぶ～」／東京都福祉局・マッチングスキル向上研修／NPO 法人 JC-NET・訪問型職場適応援助者養成研修／東京都・就労支援機関連携スキル向上事業マッチングスキル向上研修（動画視聴）／（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構・令和５年度第２回就労支援課題別セミナー「発達障害者を中心としてアセスメントの視点を学ぶ」／JC-NET・第６８期ジョブコーチ養成研修（基礎課程①）／株式会社コトノネ・生活・共生社会における障害者雇用の在り方を考える座談会／一般社団法人雇用問題研究会・キャリアインサイト講習会／東京都・令和５年度精神保健福祉研修前期・相談・支援力向上研修／障害者職業センター・就労支援課題別セミナー「アセスメントの視点を学ぶ～幕張版ワークサンプルを知る・体験する～」</p> |
| 障害特性関係 | 5 | <p>武蔵野市高次脳機能障害関係機関連絡会・臨床心理士から見た高次脳機能障害者への支援／東京都福祉局障害者施策推進部　テーマ：高次脳機能障害のある子供の理解／多摩総合保健福祉センター・大人の発達障害／東京都・令和５年度難病セミナー（実務者基礎コース）動画 1&2</p> |
| 各法人開催 | 14 | |
| その他 | 9 | <p>武蔵野市・認知症サポーター研修／東京都・令和５年度東京都相談支援従事者初任者研修／東京都・令和５年度東京都相談支援従事者初任者研修／精神保健福祉研修・思春期・青年期支援研修～ひきこもりケースへの基本的な支援～／認知症サポーター養成研修（２名）／就労移行支援事業所 SAKURA センター・テーマ：障害年金について知ろう！</p> |